

令和３年度 指定管理者年度総合評価表
(令和３年４月～令和４年３月実施分)

作 成 日	令和４年５月３０日
-------	-----------

■指定管理者概要

施 設 名	グリーンプラザなんごう	
所 在 地	八戸市南郷大字中野字舘野４－４	
施 設 概 要	設置目的：恵まれた自然環境とのふれあいを通して、都市住民との交流を図り、地域振興に資する。 構 造：鉄筋コンクリート造２階建て 運用方針：南郷地域における地域内外の交流拠点として幅広いサービスを提供。	
指定管理者	名 称	なんごうプラザ株式会社
	代 表 者	代表取締役 曾我 安博
	所 在 地	八戸市南郷大字市野沢字中市野沢 44－33
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日	
指定管理者の業務	・グリーンプラザなんごうの使用許可に関する業務 ・グリーンプラザなんごうの施設、設備等の維持管理に関する業務 ・その他市長が必要と認める業務	
市 所 管 課 (問合せ先)	総合政策部 南郷事務所 地域振興グループ	
	電 話	0178-82-2113 (直通)
	E-mail	nango@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価など

評 価	新型コロナウイルスの流行が収まらず、蔓延防止のため 9/3 から 9/30 まで、1/21 から 3/31 までの期間を、産直施設及び飲食施設において時短営業を行った。 密を避けるため、人の集まる行為には自粛傾向が続いており、会食や宴会の予約が入らず売上が伸びない一方で、手指消毒剤や従業員用の使い捨て手袋等感染予防のための消耗品や、プラスチックごみ軽減のための資材変更など、営業のための経費負担が増え、施設運営が大変厳しい年でもあった。このような状況の中、おおむね収支のバランスを取りながら施設管理を行うことができた。 施設の老朽化に伴い、故障した設備・備品の修理や更新、古くなった宿泊用客室の内装工事もあったが、市担当者と情報を共有し実施時期を調整して利用者へのサービス提供に支障がないように対応できた。
今後の目標	これまでと同様に、老朽化した設備機器に係る更新計画について市と協議し、連携しながら実施する。また、その他の機器等の点検やメンテナンスを適切に実施することにより、利用者に滞りなくより良いサービスを提供する。 プラスチックごみを削減できるように、環境に配慮した商品提供を心掛ける。 今後も新型コロナウイルス蔓延防止策を講じながら、施設管理事業の収支健全化と南郷地域の農作物の販売で地域振興につなげ、利用者には安心・安全を提供しながら集客を増やしていく。

■市（所管課）の総合評価

評 価	施設・設備等の保守点検や清掃業務を堅実に行っており、安全かつ快適な環境整備に努めていた。経年劣化による施設等の修繕箇所を早期に発見し、市と連絡を密にしながら適切に修繕を実施していた。施設改修中は飲食施設が使用できないため、ジャズの館南郷にて代替営業を行い、臨時メニューで対応したほか、わかりやすい案内表示により会場まで誘導するなど、利用者の利便性の確保に努めていた。 新型コロナウイルス感染症の流行により利用者数が減少した上に、感染対策にも時間と労力を割かなければならないなど、昨年度に引き続き施設を運営することが難しい年であったが、感染対策を講じた上で感染状況をみながら適切に指定管理業務を実施していた。
指摘事項	特になし

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	○	年間事業計画書に基づき適切に実施していた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
従事者の教育・研修	○	従事者の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態に対する対応（準備）ができていた。 ・法令に従い、適正に避難訓練を実施していた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告書等が適切に提出されていた。
利用料金の取扱い ※承認料金制の場合	○	利用料金の設定は適切で、各種媒体を使い確実に周知されていた。
利用料金の減免 ※承認料金制の場合	—	申請なし
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳、印鑑をそれぞれ別の社員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし
付保する保険 ※協定書で指定管理者に保険加入を指定している場合	○	協定書で指定する保険に加入していた。 ・自動車保険（任意）に加入していた。

指定管理開始前における準備	—	今期（令和元年度～５年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	今期（令和元年度～５年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	事例なし
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。 （使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。）
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、 その他必要な管理業務	○	清掃業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。 下記の特殊業務については、外部委託を実施し、報告書等で実施内容を確認した。 ・ボイラー点検 ・防火設備点検 ・消防設備点検 ・重油地下タンク点検 ・貯水槽点検 ・建築設備点検 ・ゴミ処分

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
宿泊・研修施設利用状況 (指定管理業務)	○	新型コロナウイルスの流行による自粛ムードが続き、コロナ禍以前の宿泊者数には及ばないものの、令和２年度に比べ宿泊施設の利用者数は、大幅に増加した。 宿泊施設：令和２年度 730 人 令和３年度 1,349 人 (対前年度比 184.8%) 研修施設：令和２年度 1,378 人 令和３年度 1,140 人 (対前年度比 82.7%)
直売所・食堂利用状況 (指定管理附帯業務)	○	新型コロナウイルス蔓延防止のために行った時短営業等の影響もあり、利用者数はやや減少した。 直売所：令和２年度 174,466 人 令和３年度 161,357 人 (対前年度比 92.5%) 食 堂：令和２年度 34,894 人 令和３年度 33,159 人 (対前年度比 95.0%)
自主事業	○	新型コロナウイルスの流行により活動が制限され、開催できなかったイベントもあったが、感染対策を施した上で「南郷の日」イベント及び新そばまつりを実施し、地域の活性化に貢献した。
その他の取組 (運営に関する工夫)	◎	施設の改修中は飲食施設が使えずジャズの館南郷での代替営業を行ったが、期間限定の特別メニューを考案したり、案内表示を工夫したりすることで臨時会場までの誘導を適切に行うなど、施設利用者の利便性の確保に努めていた。また、スタッフが一人何役もこなし、経費の削減に努め効率的に施設を運営していた。

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明				
指定管理業務の収支状況	○	適切な業務運営により、黒字であった。 (単位：円)				
			項目	収支計画	収支実績	前年度実績
		収入①	利 用 料 金	7,054,020	7,308,360	4,473,880
			指 定 管 理 料	0	0	0
			附 帯 業 務 繰 入 金	65,000,000	61,273,801	62,009,091
			自 主 事 業 繰 入 金	310,800	201,383	217,797
			新型コロナウイルス対策補助金	0	0	1,029,000
			修 繕 料 繰 越 金	314,330	314,330	40,354
			計	72,679,150	69,097,874	67,770,122
		支出②	人 件 費	48,950,000	47,330,376	50,105,501
			維 持 管 理 経 費	17,752,857	17,064,885	12,421,157
			事業費・一般事務費	240,000	230,506	225,007
			租 税	4,971,481	4,318,407	5,011,268
			計	71,914,338	68,944,174	67,762,933
次年度修繕料繰越金③		0	15,834	314,330		
収入－支出(①－②－③)		764,812	137,866	△307,141		
自主事業の収支状況	○	(単位：円)				
		事業名	収入	支出	収支	備考
		そば打ち体験	0	0	0	
		自動販売機 設置事業	201,383	15,845	185,538	収入は自動販売機 の販売手数料

4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	施設内に意見箱を設置し、利用者の意見や要望を反映させていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設概要や利用方法等をホームページ等で積極的に周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	意見箱を設置していた。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等はなかった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した、物品購入、省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。 ・包装紙の代わりとして、新聞紙の再利用に努めた。 ・厨房で発生した食用廃油を再利用可能な事業所に配付した。
障がい者への配慮	○	来館者の話をよく聞き、話が的確に伝わるように明確に、ゆっくり、丁寧に話し、必要に応じてパンフレット等の資料で説明を行っていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
自主点検状況	実施状況
	・毎日、日常業務始業前に、施設・設備を目視点検した。 ・電気、水道、ガス等のメーターを毎日2回確認し、使用量を記録することで、設備の不具合の発見に努めた。

2 定期モニタリング	
定期報告状況	実施状況
	月例報告書及び事業報告書が提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング

実地調査状況	実施回数	実施日		実施者	実施内容
	19回	4月	6日、22日	担当	施設運営状況・修繕等の確認
		6月	9日、21日		修繕現場確認、打合せ
		7月	29日、30日		現場確認
		8月	6日、31日		施設運営状況・修繕等の確認
		9月	17日、27日		次年度予算要求に係る修繕等の要望聴取、状況確認
		10月	13日、18日、29日		設備修繕に係る状況確認・打合せ
		11月	25日		修繕検査
		1月	12日、17日、21日、25日		修繕実施状況の確認、修繕中間検査
		2月	18日		修繕検査
	実施結果				
施設や設備の劣化故障等が確認された場合は、協議して修繕対応もしくは修繕計画に反映させた。					

令和３年度 指定管理者年度総合評価表
(令和３年４月～令和４年３月実施分)

作 成 日	令和４年５月３０日
-------	-----------

■指定管理者概要

施 設 名	八戸市南郷そば振興センター	
所 在 地	八戸市南郷大字中野字館野１－１	
施 設 概 要	設置目的：南郷の特産物であるそばの生産及び消費拡大を図り、地場産業の育成に努める。 構 造：鉄骨造平屋建て 運用方針：南郷の特産物である「そば」の安定的な生産と消費拡大に資する。	
指定管理者	名 称	なんごうプラザ株式会社
	代 表 者	代表取締役 曾我 安博
	所 在 地	八戸市南郷大字市野沢字中市野沢 44－33
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日	
指定管理者の業務	・八戸市南郷そば振興センターの使用許可に関する業務 ・八戸市南郷そば振興センターの施設、設備等の維持管理に関する業務 ・その他市長が必要と認める業務	
市 所 管 課 (問合せ先)	総合政策部 南郷事務所 地域振興グループ	
	電 話	0178-82-2113 (直通)
	E-mail	nango@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評 価	当施設は、南郷地域及び階上地域のそばを生産、振興する施設であり、主に両地域のそば生産者分を受託し作業している。今年度も、生産者と連絡を密に取り合い、受託日時、引き受け量の調整を行うことによって滞りなく作業を実施できた。 また、施設の開設から約 20 年が経過し、施設や設備の老朽化が見られるが、３年度は市と協議しながら、年次計画どおりに石臼製粉機の更新ができた。 そして、施設等の清掃、点検及びメンテナンスを欠かさず行うことにより、利用者が安心して、安全に使用できる状態に管理運営することができた。
今後の目標	施設、設備の経年劣化による老朽化が見受けられるが、これまで同様に、市と連絡を密に取りながら、計画的に修繕や機器の更新を進められるよう、対応を協議していく。 備品や機器の使用に関しても、安全を第一に、事故、事件を起こさないように努める。 また、南郷地域の特産である南郷そばを今後も継続して生産できるように、施設設備のメンテナンスはもとより、生産者とのコミュニケーションも大切にしながら、生産者の要望にも応えていく。

■市（所管課）の総合評価

評 価	日常業務において施設及び備品の状態確認を行い、小破修繕の迅速な対応及び点検の実施など適切な管理運営を行っていた。 当該施設利用者のほとんどがそば生産者であり、天候やそばに係る各種施策等により、取扱数量が大きく左右される。加えて、新型コロナウイルス感染症の流行が収まらず、飲食店・ホテル等の業績不振が依然として続く状況下では、国産そば粉の消費回復には時間を要することから、施設利用者の減少はやむを得ないと考ええる。 令和３年度は高低差のあるそば圃場内でコンバインの横転事故があったが、事故後の状況確認や二次被害防止のための車両移動など、事故対応が適切に行われていた。今後は、今一度、安全第一を心掛けた業務運営に努めてほしい。
指摘事項	特になし

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	○	年間事業計画書に基づき適切に実施していた。繁忙期となる収穫期は、利用者の利便を図るため、土日も開館していた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
従事者の教育・研修	○	従事者の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	コンバインの横転事故の際は、運転者の安全確認や二次被害防止措置、市への連絡などが迅速に行われ、緊急事態に対する対応が十分できていた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告書等が適切に提出されていた。
利用料金の取扱い ※承認料金制の場合	○	利用料金の設定は適切で、各種媒体を使い確実に周知されていた。
利用料金の減免 ※承認料金制の場合	○	市で示した基準どおりに減免手続が行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳、印鑑をそれぞれ別の社員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	○	指定管理者の過失等により、市に損害が生じた際の対応が適切に行われていた。
付保する保険 ※協定書で指定管理者に保険加入を指定している場合	○	協定書で指定する保険に加入していた。 ・自動車保険（任意）に加入していた。
指定管理開始前における準備	—	今期（令和元年度～5年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	今期（令和元年度～5年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	事例なし
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。（使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。）
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。

清掃業務、警備業務、 その他必要な管理業務	○	清掃業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。 下記の特殊業務については、外部委託を実施しており、報告書等で実施内容を確認した。 ・消防設備点検 ・電気保安業務 ・機械警備 ・浄化槽保守点検
--------------------------	---	---

2 運営状況																	
指標	評価	評価に対する説明															
そば刈取・乾燥調整業務利用状況 (指定管理業務)	○	そばの作付作業前の段階から生産者と連絡を取り合うことで施設の利用調整を図り、滞りなく作業を実施した。 刈取面積：令和2年度 2,401a 令和3年度 1,940a (対前年度比 80.8%) 乾燥調整：令和2年度 114t 令和3年度 173t (対前年度比 151.8%) ・取扱量は天候や作況等により変動するものであるため、数値による評価はしない。															
施設貸出利用状況 (指定管理業務)	○	利用状況は、おおむね例年並みであった。 <table> <tr> <td>乾燥設備</td><td>令和2年度 90人</td><td>令和3年度 93人</td></tr> <tr> <td>選別設備</td><td>令和2年度 112人</td><td>令和3年度 114人</td></tr> <tr> <td>製粉設備</td><td>令和2年度 37人</td><td>令和3年度 25人</td></tr> <tr> <td>製麺設備</td><td>令和2年度 0人</td><td>令和3年度 0人</td></tr> <tr> <td>汎用コンバイン</td><td>令和2年度 35人</td><td>令和3年度 27人</td></tr> </table>	乾燥設備	令和2年度 90人	令和3年度 93人	選別設備	令和2年度 112人	令和3年度 114人	製粉設備	令和2年度 37人	令和3年度 25人	製麺設備	令和2年度 0人	令和3年度 0人	汎用コンバイン	令和2年度 35人	令和3年度 27人
乾燥設備	令和2年度 90人	令和3年度 93人															
選別設備	令和2年度 112人	令和3年度 114人															
製粉設備	令和2年度 37人	令和3年度 25人															
製麺設備	令和2年度 0人	令和3年度 0人															
汎用コンバイン	令和2年度 35人	令和3年度 27人															
その他の取組 (運営に関する工夫)	○	繁忙期となる収穫期は、利用者の利便を図るため、土日も開館し、作業を滞りなく実施した。															

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明				
指定管理業務の収支状況	○	適切な業務運営により、黒字であった。				
		(単位：円)				
			項目	収支計画	収支実績	前年度実績
		収入①	利 用 料 金	5,100,000	5,654,658	4,480,175
			指 定 管 理 料	10,688,000	10,688,000	10,688,000
			附 帯 事 業 収 入	3,000,000	3,170,900	2,202,690
			特産そば産地形成奨励金	1,000,000	892,500	1,123,000
			修 繕 料 繰 越 金	9,173	11,373	95
			計	19,797,173	20,417,431	18,493,960
		支出②	人 件 費	9,240,000	9,214,848	8,836,750
			維 持 管 理 経 費	4,534,100	5,527,129	4,599,687
			事業費・一般事務費	4,900,000	4,120,940	4,169,128
			租 税	942,097	1,046,305	884,104
			計	19,616,197	19,909,222	18,489,669
次年度修繕料繰越金③		0	326,710	11,373		
収入－支出(①－②－③)		180,976	181,499	△7,082		

4 運営に係る体制整備等の状況		
指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者は主にそば生産者であり、事前に協議する等、利用者の満足が得られるような体制をとっていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設の概要をホームページにより周知していた。 ・ホームページのほか、新規利用者にはその都度利用方法を説明した。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情・要望等の受付体制を明示し、周知していた。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等はなかった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した省エネルギーへの取組やリサイクルの推進等が適切に行われていた。 ・業務で発生したそば殻を商品として販売するほか、希望する農家に配布する等、廃棄物を減らすよう取り組んでいた。
障がい者への配慮	○	来館者の話をよく聞き、話が的確に伝わるように明確に、ゆっくり、丁寧に話し、必要に応じてパンフレット等の資料で説明を行っていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
自主点検状況	実施状況
	- 毎日、日常業務始業前に、施設・設備を目視点検した。 - 電気、水道のメーターを毎日2回確認し、使用量を記録することで、設備の不具合の発見に努めた。

2 定期モニタリング	
定期報告状況	実施状況
	月例報告書及び事業報告書が提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング					
実地調査 状況	実施回数	実施日		実施者	実施内容
	8 回	4 月	22 日、27 日	担当	施設運営状況等の確認、備品購入内容打合せ
		5 月	6 日、21 日		現場確認
		8 月	23 日、30 日		備品納品検査立会い、現場確認
		9 月	17 日		次年度予算要求に係る修繕等の要望聴取、施設運営状況の確認
		10 月	29 日		現場確認
	実施結果				
	施設や設備の劣化故障等が確認された場合は、協議して修繕対応もしくは修繕計画に反映させた。				

令和３年度 指定管理者年度総合評価表
(令和３年４月～令和４年３月実施分)

作 成 日	令和４年５月３０日
-------	-----------

■指定管理者概要

施 設 名	ジャズの館南郷	
所 在 地	八戸市南郷大字中野字館野４－４	
施 設 概 要	設置目的：地域住民に文化的交流の場を提供し、ジャズを通じた広域的な交流により地域の活性化を図る。 構 造：鉄筋コンクリート造 平屋建て 運用方針：ジャズを通じて他地域の住民との交流と地域の活性化を図る。	
指定管理者	名 称	なんごうプラザ株式会社
	代 表 者	代表取締役 曾我 安博
	所 在 地	八戸市南郷大字市野沢字中市野沢 44－33
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日	
指定管理者の業務	・ジャズの館南郷の使用許可に関する業務 ・ジャズの館南郷の施設、設備等の維持管理に関する業務 ・その他市長が必要と認める業務	
市 所 管 課 (問合せ先)	総合政策部 南郷事務所 地域振興グループ	
	電 話	0178-82-2113 (直通)
	E-mail	nango@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評 価	当施設は、南郷地域の特色であるジャズに通年で触れることができる、地域のシンボリックな施設である。 例年であれば、年数回の無料ジャズライブや会議、宴会などの貸館で利用者に好評を得てきたが、新型コロナウイルスの蔓延が収まらず、9/1 から 9/30 まで、年明けの 1/21 から 3/31 までの期間が臨時休館となるなど施設運営の難しい年であった。 このような状況の中、手指消毒剤やレジ等への遮蔽用ビニールシートの設置はもちろん、新たに各テーブル上に遮蔽板（パーテーション）を設置し、安心・安全にお客様に利用していただけるように対策を取った。また、従業員は調理時、感染症対策のため使い捨て手袋を使用、施設の換気・消毒作業など様々な感染対策も講じた上で安全に施設を運営することができた。
今後の目標	新型コロナウイルスの感染防止の観点から、当分の間は貸館や無料ジャズライブ等、大人数での利用はある程度制限されると思われるが、このような状況の中でも、ジャズに興味のある方を中心に、道の駅直売所や週末のそば屋台の利用者に対し、無料で休憩できる施設であることを周知するとともに、平日でも個人や少人数での利用者が増加するように努力する。 また、新型コロナウイルスの感染防止のために、手指消毒剤の設置、適時換気や備品の消毒を実施して、安心・安全に利用できる施設であることを継続して PR していく。

■市（所管課）の総合評価

評 価	施設及び備品の点検や清掃業務を堅実に行ったほか、経年劣化による備品等の修繕は、市と連絡を密にしながら実施した。また、優れた音響機器を活用し、利用者にジャズの音楽を体感してもらうジャズタイムを実施するなど、利用者の多様なニーズに対応すべく努めた。 新型コロナウイルスの蔓延防止のため、市の協力要請に応じて施設を臨時休館するなど、施設運営が難しい年ではあったが、感染対策を十分に講じたうえで適切な施設運営を行っていた。 これからも南郷地域のイメージである「そばとジャズ」のジャズを、通年触れることができる施設として、地域活性化に貢献してほしい。
指摘事項	特になし

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	○	年間事業計画書に基づき適切に実施していた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
従事者の教育・研修	○	従事者の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態に対する対応（準備）ができていた。 ・法令に従い、適正に避難訓練を実施していた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告書等が適切に提出されていた。
利用料金の取扱い ※承認料金制の場合	○	利用料金の設定は適切で、各種媒体を使い確実に周知されていた。
利用料金の減免 ※承認料金制の場合	○	市で示した基準どおりに減免手続が行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳、印鑑をそれぞれ別の社員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし
指定管理開始前における準備	—	今期（令和元～5年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。

管理終了後における引継ぎ	—	今期（令和元～5年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	事例なし
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。 （使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。）
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、 その他必要な管理業務	○	清掃業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。 下記の特殊業務については、外部委託を実施し、報告書等で実施内容を確認した。 ・消防設備点検 ・建築設備点検 ・機械警備 ・ピアノ調律

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
施設利用状況 （指定管理業務）	○	昨年同様、新型コロナウイルス流行による自粛ムードがあり、施設利用は小規模な集会や講習会の利用にとどまり、コロナ禍前の水準には遠く及ばないものの、前年度に比べ増加した。 令和2年度 150 人 令和3年度 287 人（対前年度比 191.3%）
ジャズイベント実施状況 （指定管理附帯業務）	△	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、ジャズイベントは全て中止とした。 令和2年度 0 人 令和3年度 0 人（対前年度比 —）
自主事業	○	無料開放時はランチタイムと音響機器を活用したジャズタイムに分け、軽食や休憩目的の利用者、音楽鑑賞を目的とする利用者、双方に満足してもらえるように努めた。 無料開放時来館者 令和2年度 8,475 人 令和3年度 8,021 人 （対前年度比 94.6%） 飲食利用者数 令和2年度 1,192 人 令和3年度 3,017 人 （対前年度比 253.1%）

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																																													
指定管理業務の収支状況	○	適切な業務運営により、黒字であった。 (単位：円) <table><tr><th></th><th>項目</th><th>収支計画</th><th>収支実績</th><th>前年度実績</th></tr><tr><td rowspan="6">収入①</td><td>利 用 料 金</td><td>55,620</td><td>66,420</td><td>40,500</td></tr><tr><td>指 定 管 理 料</td><td>6,760,000</td><td>6,760,000</td><td>6,760,000</td></tr><tr><td>自 主 事 業 繰 入 金</td><td>300,000</td><td>114,756</td><td>40,886</td></tr><tr><td>新型コロナウイルス対策補助金</td><td>0</td><td>0</td><td>9,000</td></tr><tr><td>修 繕 料 繰 越 金</td><td>48,488</td><td>48,488</td><td>26,728</td></tr><tr><td>計</td><td>7,164,108</td><td>6,989,664</td><td>6,877,114</td></tr><tr><td rowspan="5">支出②</td><td>人 件 費</td><td>3,845,000</td><td>3,671,650</td><td>3,604,282</td></tr><tr><td>維 持 管 理 経 費</td><td>1,951,700</td><td>2,201,109</td><td>2,648,046</td></tr><tr><td>事業費・一般事務費</td><td>790,000</td><td>98,240</td><td>109,588</td></tr><tr><td>租 税</td><td>402,037</td><td>490,265</td><td>374,498</td></tr><tr><td>計</td><td>6,988,737</td><td>6,461,264</td><td>6,736,414</td></tr><tr><td colspan="2">次年度修繕料繰越金③</td><td>0</td><td>30,868</td><td>48,488</td></tr><tr><td colspan="2">収入－支出(①-②-③)</td><td>175,371</td><td>497,532</td><td>92,212</td></tr></table>		項目	収支計画	収支実績	前年度実績	収入①	利 用 料 金	55,620	66,420	40,500	指 定 管 理 料	6,760,000	6,760,000	6,760,000	自 主 事 業 繰 入 金	300,000	114,756	40,886	新型コロナウイルス対策補助金	0	0	9,000	修 繕 料 繰 越 金	48,488	48,488	26,728	計	7,164,108	6,989,664	6,877,114	支出②	人 件 費	3,845,000	3,671,650	3,604,282	維 持 管 理 経 費	1,951,700	2,201,109	2,648,046	事業費・一般事務費	790,000	98,240	109,588	租 税	402,037	490,265	374,498	計	6,988,737	6,461,264	6,736,414	次年度修繕料繰越金③		0	30,868	48,488	収入－支出(①-②-③)		175,371	497,532	92,212
			項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																																									
		収入①	利 用 料 金	55,620	66,420	40,500																																																									
			指 定 管 理 料	6,760,000	6,760,000	6,760,000																																																									
			自 主 事 業 繰 入 金	300,000	114,756	40,886																																																									
			新型コロナウイルス対策補助金	0	0	9,000																																																									
			修 繕 料 繰 越 金	48,488	48,488	26,728																																																									
			計	7,164,108	6,989,664	6,877,114																																																									
		支出②	人 件 費	3,845,000	3,671,650	3,604,282																																																									
			維 持 管 理 経 費	1,951,700	2,201,109	2,648,046																																																									
			事業費・一般事務費	790,000	98,240	109,588																																																									
			租 税	402,037	490,265	374,498																																																									
計	6,988,737		6,461,264	6,736,414																																																											
次年度修繕料繰越金③		0	30,868	48,488																																																											
収入－支出(①-②-③)		175,371	497,532	92,212																																																											
自主事業の収支状況	○	令和2年度に館内にソフトクリームフリーザーを導入し、道の駅利用者に「ジャズの館でもソフトクリームを販売している」との認知度が上がり、売上が増加した。 レストラン事業 (単位：円) <table><tr><th></th><th>収支実績 (3年度)</th><th>前年度実績 (2年度)</th><th>備考</th></tr><tr><td>収入</td><td>191,260</td><td>102,215</td><td>飲食代売上</td></tr><tr><td>支出</td><td>76,504</td><td>61,329</td><td>食材仕入代</td></tr><tr><td>収入－支出</td><td>114,756</td><td>40,886</td><td></td></tr></table>		収支実績 (3年度)	前年度実績 (2年度)	備考	収入	191,260	102,215	飲食代売上	支出	76,504	61,329	食材仕入代	収入－支出	114,756	40,886																																														
			収支実績 (3年度)	前年度実績 (2年度)	備考																																																										
		収入	191,260	102,215	飲食代売上																																																										
		支出	76,504	61,329	食材仕入代																																																										
		収入－支出	114,756	40,886																																																											

4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	接客時の会話等により、利用者の満足度の把握に努めていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設概要や利用方法等をホームページで積極的に周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	意見箱を設置していた。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等はなかった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。

環境への配慮	○	環境に配慮した、物品購入、省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。
障がい者への配慮	○	来館者の話をよく聞き、話が的確に伝わるように明確に、ゆっくり、丁寧に話し、必要に応じてパンフレット等の資料で説明を行っていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
自主点検状況	実施状況 ・毎日、日常業務始業前に、施設・設備を目視点検した。 ・電気、水道のメーターを毎日2回確認し、使用量を記録することで、設備の不具合の発見に努めた。

2 定期モニタリング	
定期報告状況	実施状況 月例報告書及び事業報告書が提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	4 回	4 月 6 日	担当	施設運営状況・修繕箇所等の確認
		6 月 28 日	担当	現場確認
		7 月 27 日	担当	備品納品検査立会い
		9 月 17 日	担当	設備状況確認、次年度計画に係る打合せ
	実施結果			
	施設や設備の劣化故障等が確認された場合は、協議した後、修繕対応するか、もしくは今後の修繕計画に反映させた。			